

農政の動き 2014年12月22日～2015年1月8日

◇

14年の世界の年平均気温 統計史上最高に

◇

気象庁は、2014年の世界の年平均気温（速報値）は、1981～10年の30年平均値を基準値とする平年比で0.27度高く、統計開始（1891年）以降では最高となる見込みと発表した。これまでの最高は98年の0.22度で、世界の年平均気温は100年当たり0.70度の割合で上昇している。日本の14年の年平均気温は平年比で0.28度高く、統計開始（1898年）以降では11番目に高い値になる見込み。日本の年平均気温は100年当たり1.15度の割合で上昇、特に90年以降で高温年が多くなっている。（2014年12月22日）

◇

米の相対価格 06年産以降で最安値を更新

◇

農林水産省は、2014年産米の11月の相対取引価格（全銘柄平均）は、前年同期比16.9%（2475円）安の60キロ当たり1万2162円と発表した。前月比で0.4%（53円）安く、情報提供を開始した06年産米以降で最安値を更新した。産地品種銘柄別では、愛知「あいちのかおり」が前月比13%高となるなど一部銘柄は上昇した。一方で、東北や関東の10銘柄は依然1万円を下回っており、最安値は群馬「あさひの夢」で8654円となっている。（26日）

◇

豚流行性下痢が拡大 防疫徹底を呼びかけ

◇

農林水産省は、豚流行性下痢（PED）が2014年9月以降、15都県の53戸で発生していると発表した。発生頭数は1万3435頭で、うち1091頭が死亡した。飼養衛生管理の徹底などPED防疫マニュアルに基づくウイルスの侵入とまん延防止対策の徹底を呼びかけている。PEDは13年10月以降、14年春にかけて全国にまん延し、14年8月末までに約39万頭が死亡した。（2015年1月4日）

◇

安倍首相が年頭会見「日本経済を必ずや再生」

◇

安倍晋三首相は年頭記者会見で、「日本経済を必ずや再生する」と述べ、経済最優先で政権運営にあたる考えを示した。「今年あらゆる改革を大きく前進させる1年にしたい。今月始まる通常国会は『改革断行国会』とする」と強調した。（5日）

◇

鳥インフル 延岡市の移動制限区域を解除

◇

宮崎県は、延岡市の高病原性鳥インフルエンザ発生農場の半径3^キ。圏内に設定した移動制限区域を解除した。昨年12月16日に発生が確認され、同日に殺処分と消毒を実施。12月31日に半径3～10^キ。圏内の搬出制限区域を解除していた。なお、延岡市の発生以降、宮崎市と山口県長門市の養鶏場でも発生が確認され、殺処分と消毒など防疫措置が実施された。ただ、韓国などでは感染が続いており、

農林水産省は飼養衛生管理の徹底など生産現場に警戒強化を呼びかけている。(7日)

◇

サトウキビ交付金 トン1万6420円

◇

農林水産省は、2015年産の甘味資源作物交付金単価と関連対策を決めた。サトウキビ交付金は前年産と同じトン当たり1万6420円とし、基準糖度帯も前年産と同じ13.1～14.3度に据え置く。14年度で終了する「さとうキビ増産基金」は14年度末時点の基金残高(11億円の見込み)を活用し、新たに台風や干ばつ、病虫害発生などに備えたセーフティネット基金として維持する。また、でんぷん原料用カンショの交付金単価も、前年産と同じトン当たり2万6千円と決めた。(8日)